

数学	課題分析	授業改善案等	改善状況
1年	<p>【基礎計算力の向上】 計算の理解度や、スピードの差が大きい。分数、小数の計算に苦手意識がある生徒がいる。</p> <p>【見通しをもつ力】 文章題で、どのように立式してよいかわからずに止まっている生徒がかなりいる。手順が明確になっていない生徒がいるので、見通しをもつ力を付けることが必要である。</p>	<p>【基礎計算力の向上】 授業時間内に、問題集に取り組む時間を確保する。章ごとに確認テストを実施するなど、繰り返し学習内容を振り返ることで、理解を定着させる。</p> <p>【見通しをもつ力】 問題演習においても見通しをもたせるようにしているが、大きなくくりで単元においても全体像を示し、学習の系統性を示す。そこから自らの課題を把握し、自分にあった学習の進め方（主体的に学習に取り組む姿勢）を見つけられるようにする。</p>	
2年	<p>【知識・技能】 計算の理解度や、スピードの差が大きい。また、ケアレスミスもみられ、基礎計算力の定着をさらに図る必要がある。</p> <p>【思考・判断・表現】 数学的活動を通して、解決方法を考察及び表現をし、説明することを苦手とする生徒がいる。</p>	<p>【知識・技能】 授業の内容にあったワークを指定し、授業内で演習時間をとったり、宿題にするなど、繰り返し学習内容を振り返ることで、理解を定着させる。</p> <p>【思考・判断・表現】 学び合いの時間を確保するなど、人に説明する力・人の話を聞く力をつけていく。必要に応じて図や表を活用できるように、授業の中で提示していく。</p>	
3年	<p>【知識・技能】 ①数と式、②関数、③図形、④データの活用の各分野について、数学的活動を通して基本的な理解や計算処理をする力を身に付ける</p> <p>【思考・判断・表現】 ①数と式、②関数、③図形、④データの活用の各分野について数学的活動を通して、解決方法を考察及び表現をし、説明する力を身に付ける</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①数と式、②関数、③図形、④データの活用の各分野について数学的活動を通して、具体的な事象や場面で活用する力を身に付ける</p>	<p>【知識・技能】 問題集やプリント演習に取り組む時間を確保し、章ごとに確認テストを実施するなどにより、理解を定着させる</p> <p>【思考・判断・表現】 問題演習において、見通しをもたせ学習の系統性を示す。章ごとに確認テストを実施するなどにより、理解を定着させる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元毎に自己評価シートに取り組み、自らの課題を把握し、自分にあった学習の進め方を主体的に見つけられるようにする。</p>	